

強化審判員 2021 シーズン 開幕前研修

CGFA Referee 強化部

2月21日（日）広島県三次市において、中国サッカー協会審判委員会強化部主催の、2021 シーズン開幕前研修を開催しました。

研修スケジュール

みよしまちづくりセンター 1F ペペラホール	
9:30	受付 開講
10:00	審判委員会強化部からの2021シーズンの事務連絡 前田強化部長 ・強化部の理念、4つの目標、3つの習慣について ・リーグ、大会等のスケジュールについて ・カテゴリー編成について ・割当について ・その他…
10:40	講義 前田強化部長 ・2020シーズンから映像分析 ・判定基準について
12:00	休憩 移動
みよし運動公園 きんさいスタジアム地下多目的スペース	
13:00	プラクティカルトレーニング ・FKセレモニーにおけるコントロール ・第4の審判員スキルアップ ・オフサイドチェック 前田強化部長、中国インストラクタートレセン（平マネージャーほか6名） 中国アカデミー（原田マスター、宮部インストラクター）
16:00	閉講

★ 前田強化部長による講義の様子



参加対象は、中国5県の2級審判員のうち、カテゴリー1～4に属する強化審判員で、シーズンを通して中国サッカーリーグをはじめ中国地域トップレベルの試合を担当する審判員です。

午前中は、中国サッカー協会審判委員会の前田強化部長による、2021シーズン開幕へ向けての事務連絡、シーズンターゲット、割当に関する考え方、映像分析による講義が行われました。

映像分析による講義は、中国サッカーリーグの各チームにおいて開催されるルール講習会と同じ資料で行われ、審判委員会とチームとの情報共有を図りました。

また、新型コロナの影響で参加が叶わなかった審判員は、リモートでの参加となりました。

午後からのプラクティカルトレーニング(実践的トレーニング)では、中国レフェリーインストラクタートレセン(略称:イントレ)のカリキュラムと併せて行い、2021シーズンのターゲットであるFKセレモニーにおけるマネジメントや、第4の審判のスキルアップを図りました。

審判員、審判インストラクター共に1か月後に迫ったシーズン開幕へ向けて、モチベーションが上がる有意義な研修になったものと思います。

★ プラクティカルトレーニングの様子



★ オフサイドチェックをインスタントフィードバックしている様子



★ 前田強化部長による総括



参加者からのコメント

岩村真斗 審判員（広島県）

私は今回の研修で、はっきりと判定できていなかったノーマルフットボールコンタクトに関する見解を持つことと、実戦で想定されるFK マネジメント、第四審の動き、オフサイドという三つの局面の経験を積むことができました。

また、意見交換や反省も積極的に行い、自分だけでなく、中国地域全体のレフェリーレベルの向上にもつながるとても有意義な時間を過ごせました。この経験を是非今後のレフェリングに活かしていきたいです。

菅 翔太郎 審判員（島根県）

今回の研修会を経て、自分の向上心を改めて見直すべきだと感じました。他県からの優秀な審判員の方々と一緒に、意見交換やプラクティカルトレーニングを行いとても良い刺激となりました。コロナ渦の中、審判活動も思うようにできていなかった私は審判の向上心を失いつつありました。しかし、皆様方の姿を見ていると少しでも追いつけるように頑張りたいと強く思いました。

プラクティカルトレーニングでは自分の課題でもある FK マネジメントや第4の審判員のベンチコントロール、オフサイド判定 どれもインストラクターの方々が的確な指導でとてもわかりやすく充実したものでした。今回学んだことを試合で生かせるように日々のトレーニングをしっかりと行いたいと思います。

こういった他県の審判員と交流して勉強する機会は貴重なものでありとても良い経験となります。今後とも、互いの県が切磋琢磨し高め合える関係を築けるように島根県でもう一度力をつけていきます。

貴重な研修会を開いていただき、ありがとうございました。

西嶋 瞭 審判員（山口県）

午前中の研修会では、前田強化部長から今シーズンの伝達と映像分析による判定基準について講義が行われ、今シーズンに意識したい点や判定基準について整理することができました。午後に行ったプラクティカルトレーニングでは、選手への対応、オフサイドチェック、ベンチ役員への対応を実践的に行う中で、自身の課題を明確にすることができました。

研修を通して、開幕前に改めて審判団が同じ方向を向いたり、自分の課題を把握したりすることは非常に有意義であると感じました。また、中国のトップレフェリーたちと共に過ごすことで、より一層モチベーションも高まりました。

今シーズンも、中国地域のサッカーがフェアで楽しく、最高の試合となるように励んでまいりたいと思います。

大枝涼芽審判員（岡山県）

先日はこのご時世の中、研修会を開催していただきありがとうございます。

今回の開幕前研修で起きた事象への対応の仕方、懲戒の有無について整理することができました。

特に「第4の審判員」についてはケースバイケースなことが多い為、注意なのか、警告または退場なのかについては、競技規則の理解が必要であると実感しました。

早いところでは2月末には試合が始まります。しっかり準備をして2021シーズンを迎えたいと思います。

審判員からのリクエストにより、今回の研修はプラクティカルトレーニングを主体としたこの研修会では、大学生から40歳代まで幅広い世代の審判員が集い、それぞれのサッカー経験をもとに意見交換しながら取り組めたことが最大の成果であったように思います。

まだまだ予断を許さない日が続きますが、間もなくJリーグも開幕します。J1リーグではVARも再開します。

国内トップリーグから地域リーグまで、安全第一でサッカーが楽しめる環境づくりのため、審判委員会としてもその職責を果たすよう努めていく所存です。